



2019年10月25日

各位

会社名 櫻島埠頭株式会社
 代表者名 代表取締役社長 平井 正博
 (コード番号：9353 東証第2部)
 問合せ先 取締役(総務担当) 増田 康正
 TEL(代表) 06-6461-5331

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2019年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2020年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2019年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当り 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	2,100	30	50	40	26.64
今回発表予想 (B)	2,249	154	185	166	110.64
増減額 (B)－(A)	149	124	135	126	—
増減率 (%)	7.1	413.3	270.0	315.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2019年3月期第2四半期)	2,255	67	96	82	54.98

(2) 2020年3月期通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当り 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A)	4,500	135	180	140	93.25
今回発表予想 (B)	4,300	135	180	140	93.25
増減額 (B)－(A)	△200	0	0	0	—
増減率 (%)	△4.4	0.0	0.0	0.0	—
(ご参考)前期実績 (2019年3月期)	4,426	43	112	143	95.46

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、当初業績予想と比べ、ばら貨物の荷動きが好調であったこと、また、液体貨物タンクの高稼働が続いたことなどから、期初予想を上回る見込みとなりました。また、利益につきましては、売上高の増加のほか、当該期間中に予定していたタンク整備作業が下半期にずれ込んだことなどにより、営業原価が減少し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が、それぞれ期初予想を上回る見込みとなりました。

一方、下半期の業績につきましては、2019年8月26日に公表しております当社本船荷役設備にある海上クレーン1基の不具合の影響から、ばら貨物の売上高が減少することが見込まれるほか、同クレーンの復旧費用等の発生や、上半期から繰り延べられた整備作業等により、業績は厳しくなると予想されます。

この結果、2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、売上高は減少する見込みです。ただし、液体貨物セグメントのタンク稼働が堅調に推移していることや、物流倉庫セグメントの食材加工施設増設に伴う収益が寄与し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は期初予想値を確保できる見込みです。

なお、海上クレーンにつきましては、11月中旬に復旧する予定です。

(注) 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上